

一農ネットアンケート 調査結果概要

■調査期間

平成29年11月10日（金）～12月15日（金）

■調査対象

平成29年11月現在農業次世代人材投資資金を受給している者
経営開始型の交付期間を終了している者

■回答数

準備型 825人 （回答割合 57.7%）

経営開始型 5,615人 （回答割合 38.7%）

平成30年3月30日

農林水産省

I 準備型

1 回答者の属性

① 性別

性別	人数	構成比
男性	650	79%
女性	175	21%
計	825	100%

② 出身

出身	人数	構成比
農家	306	37%
非農家	519	63%
計	825	100%

③ 年齢

年齢	人数	構成比
10代	131	16%
20代	265	32%
30代	297	36%
40代	132	16%
50代	0	0%
計	825	100%

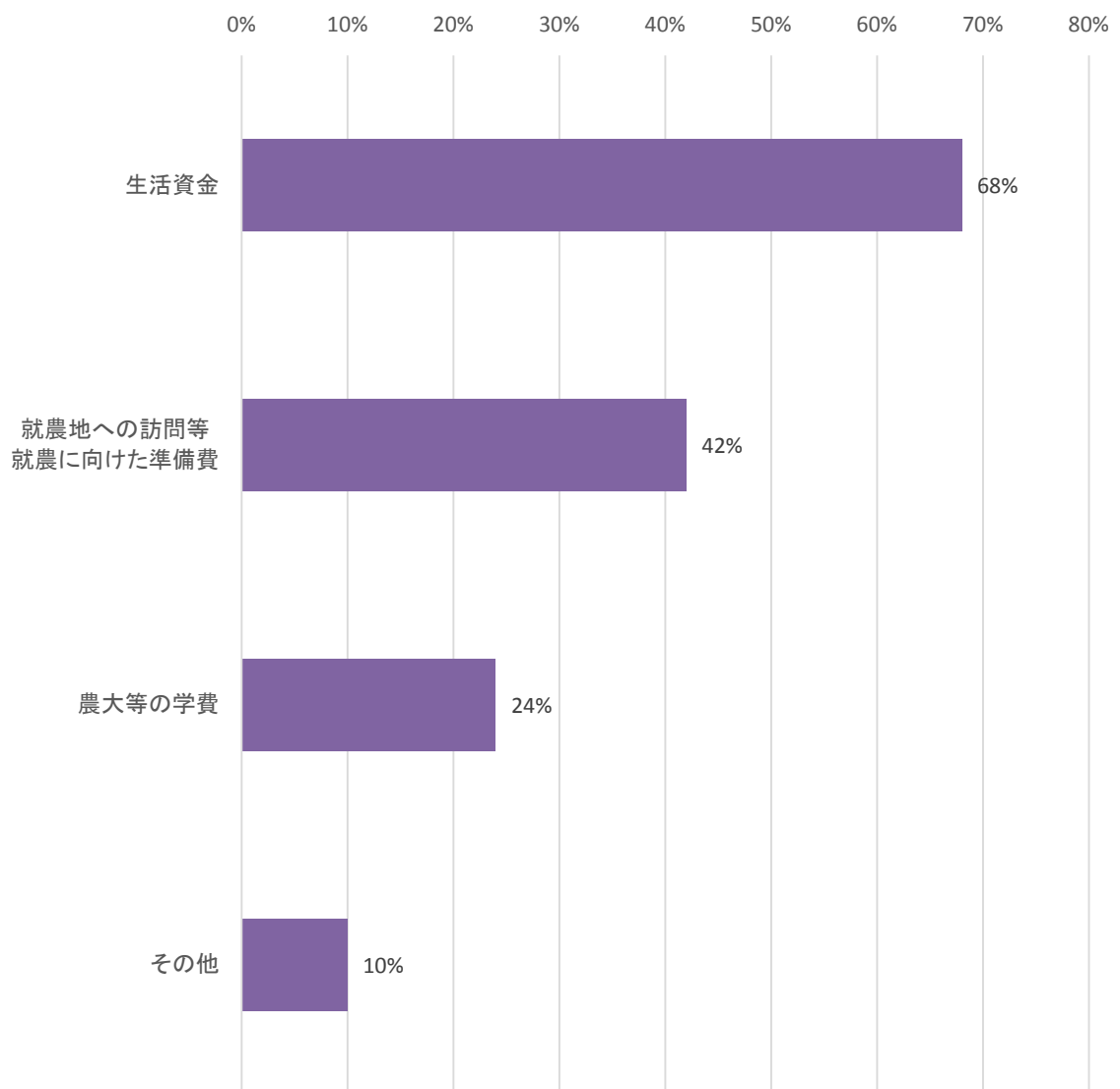
④ 受給後の就農形態（予定）

就農形態	人数	構成比
独立・自営就農	521	63%
親元就農	93	11%
雇用就農	211	26%
計	825	100%

2 質問への回答結果

① 準備型資金は主に何に使っていますか。（複数回答可）

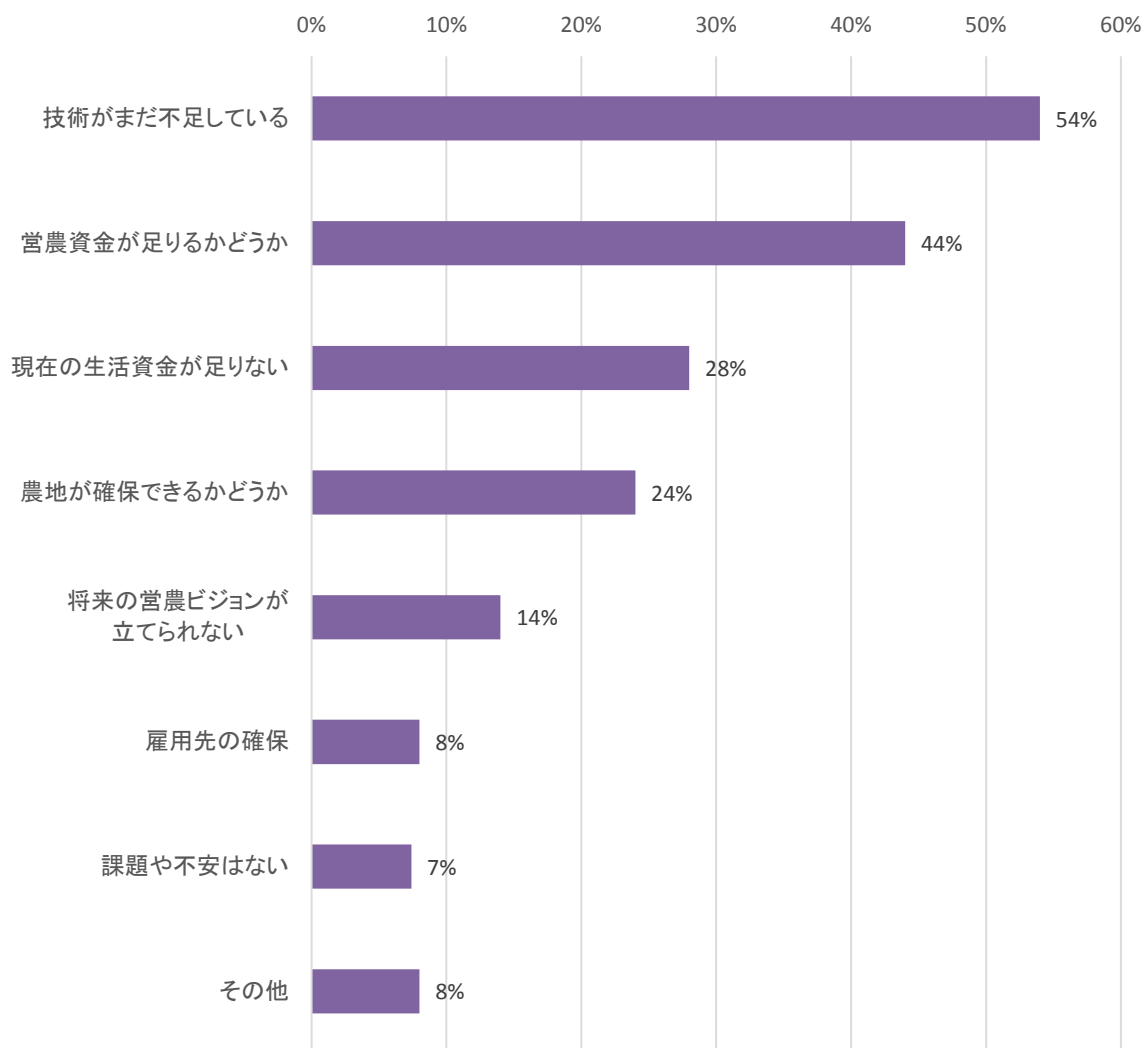
生活資金への使用が最も高く（68%）、次いで就農に向けた準備費（42%）、農大等の学費（24%）の順となっている。



- その他の使い道
 - ・ 研修に必要な雑費
 - ・ 資格取得
 - ・ 海外研修費

②現在の課題や不安に思うことは何ですか。（複数回答可）

技術がまだ不足している（54%）、営農資金が足りるかどう（44%）、農地が確保できるか（24%）について課題と考える者が多く、就農時に抱える課題と同様の結果となっている。



●その他の課題

- ・1年以内の就農
- ・労働力の確保
- ・販路の確保
- ・作業場や住居の確保
- ・農機具の確保
- ・営農開始後の収入
- ・5年以内に認定新規就農者になれるか

Ⅱ 経営開始型

1 回答者の属性

① 性別

性別	人数	構成比
男性	5108	91%
女性	507	9%
計	5615	100%

② 出身

出身	人数	構成比
農家	2617	47%
非農家	2998	53%
計	5615	100%

③ 年齢

年齢	人数	構成比
10代	2	0%
20代	746	13%
30代	2570	46%
40代	2256	40%
50代	41	1%
計	5615	100%

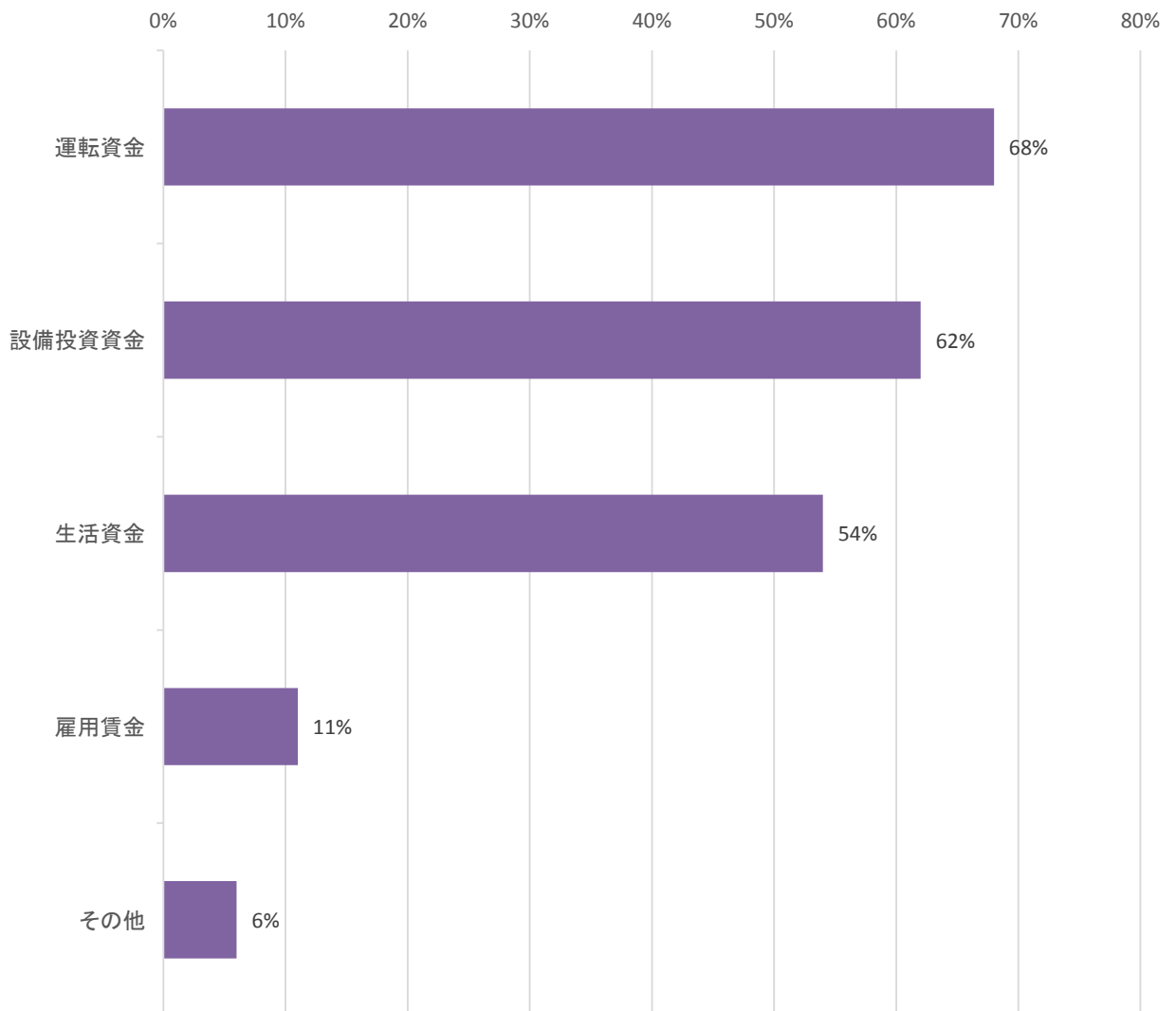
④ 就農年数

年数	人数	構成比
1年目	590	11%
2年目	825	15%
3年目	960	17%
4年目	1054	19%
5年目	1073	19%
6年目	1113	20%
計	5615	100%

2 質問への回答結果

① 経営開始型資金は主に何に使っています（いました）か。（複数回答可）

運転資金への使用が最も高く（68%）、次いで設備投資資金（62%）、生活資金（54%）の順となっている。



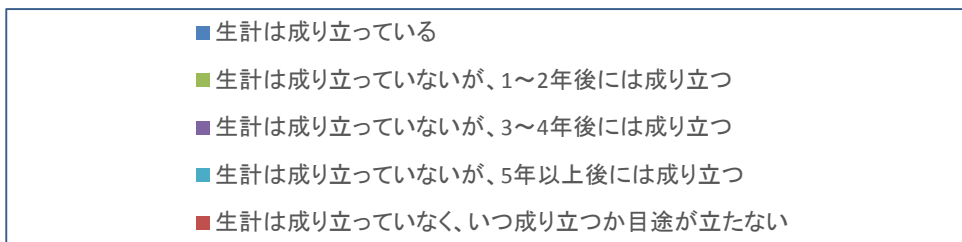
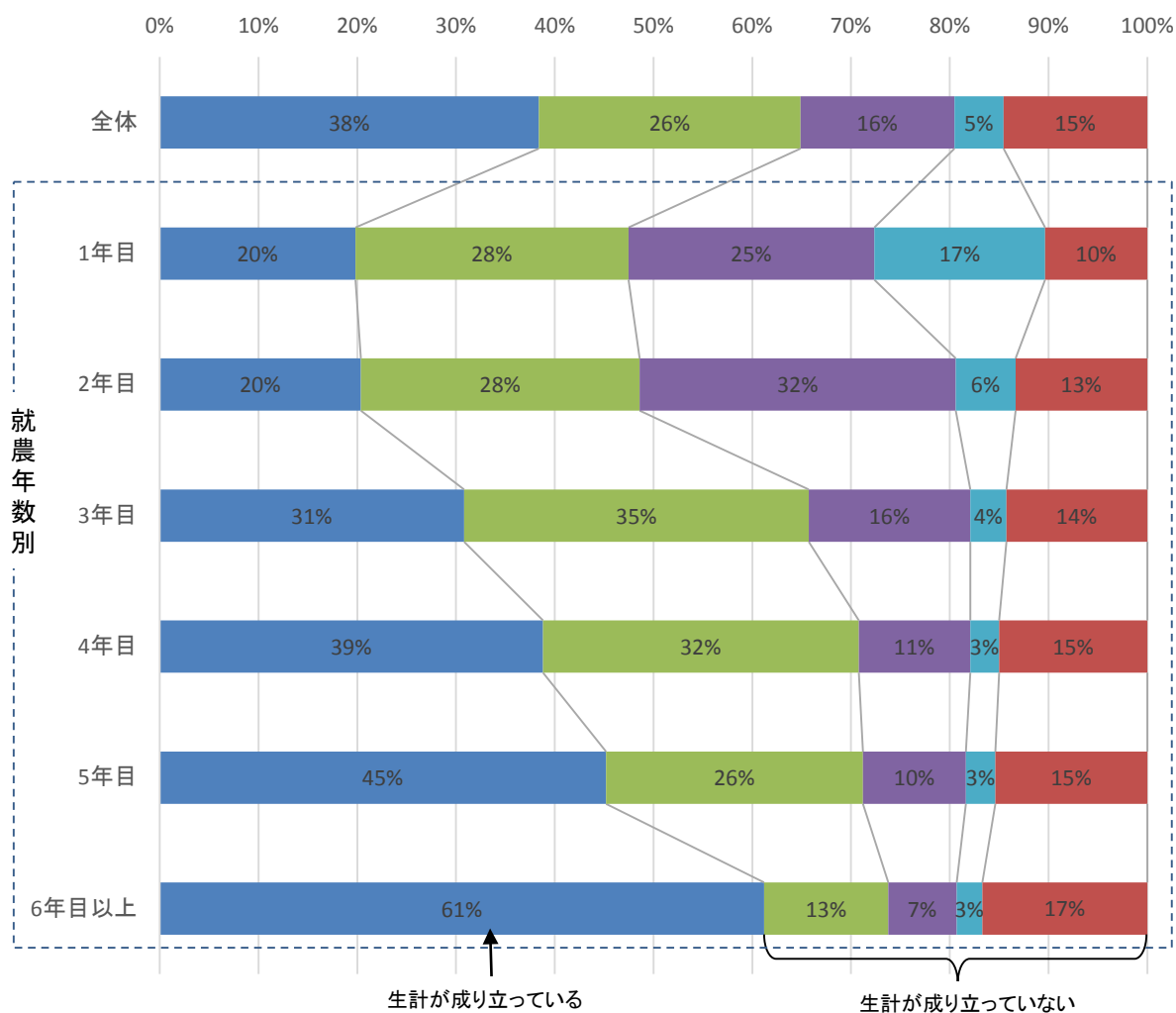
●その他の使い道

- ・ 機械修理
- ・ 地代
- ・ 加工品開発
- ・ 土地改良
- ・ 研修費
- ・ 作業委託費

② 現在、農業所得（経営開始型資金は除く）で生計が成り立っていますか。
成り立っていない場合、今後、農業所得により概ね何年後に生計が成り立ちそうですか。

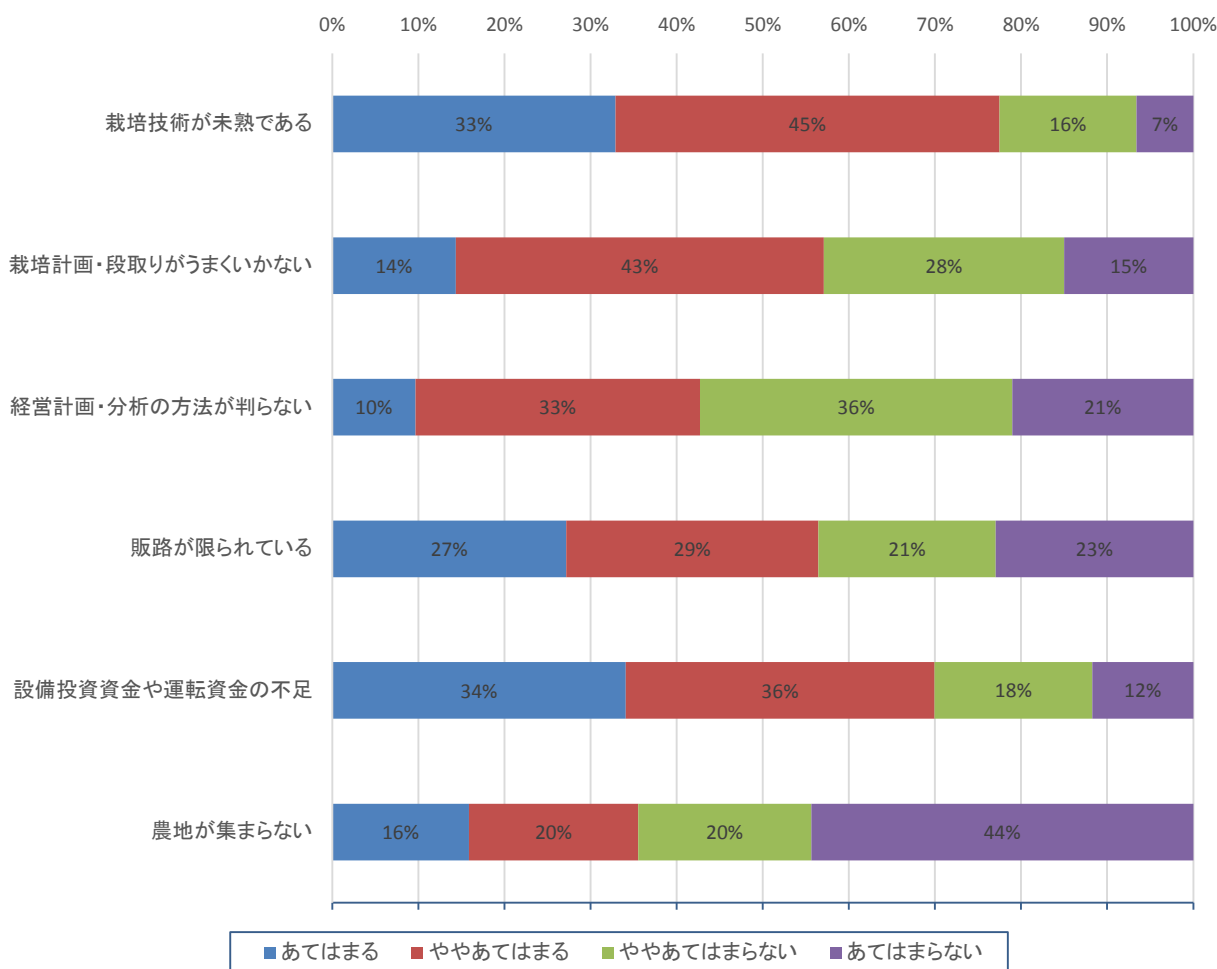
就農経過年数が長くなるに従って、農業所得で生計が成り立つ者の割合が高くなり、6年目以上で61%と過半数以上となっている。

一方、生計が成り立つ目途が立たない者についても就農経過年数が長くなるに従って割合が高くなっている。



③ 自分にとっての現在の営農上の課題は何ですか。

栽培技術が未熟を課題とした者が最も多く（78%）、次いで資金不足（70%）、栽培計画・段取りがうまくいかない（57%）、販路が限られている（56%）の順となっている。



●その他の課題

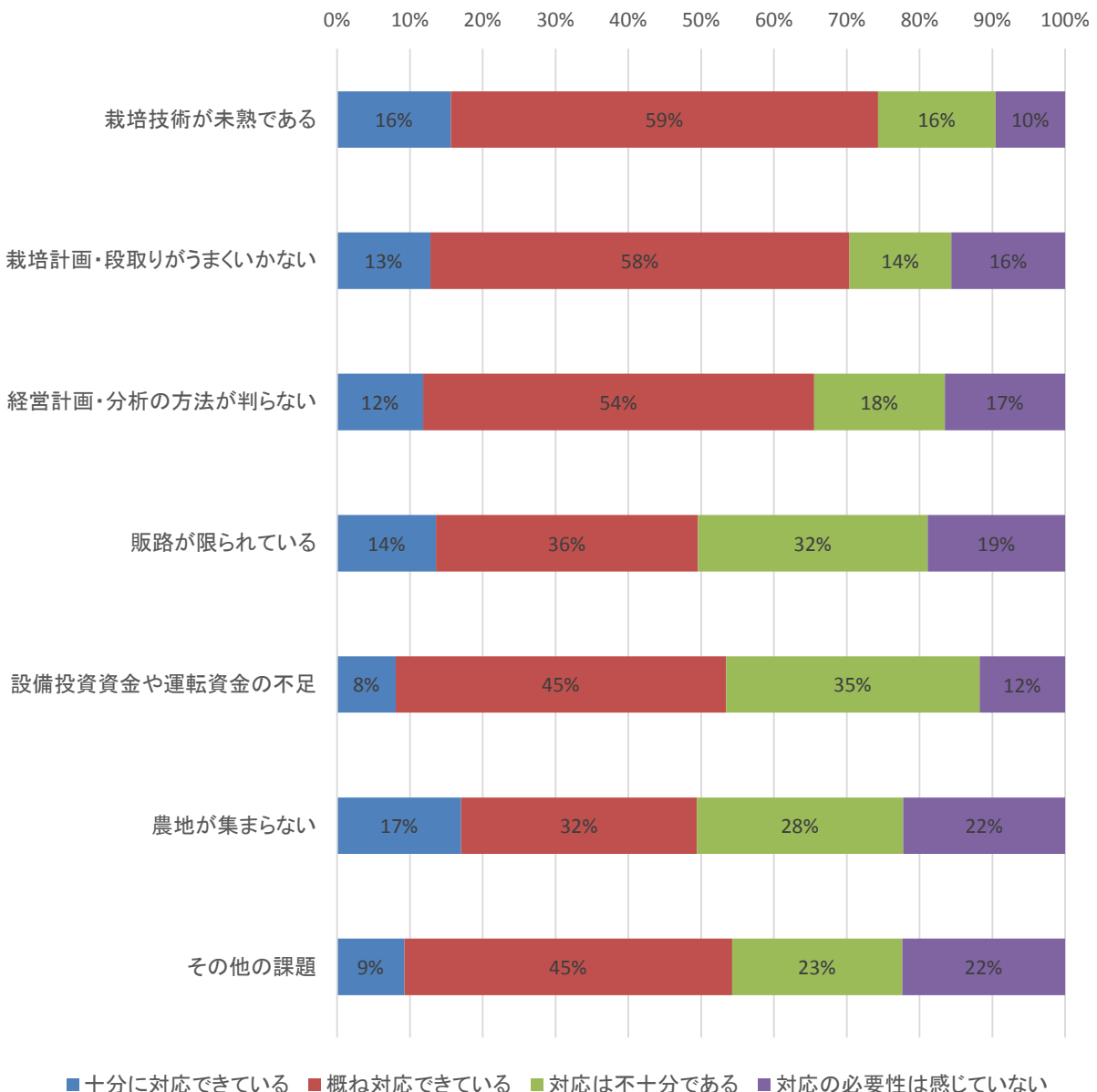
- ・ 6次化に向けて
- ・ 労働力の確保
- ・ 鳥獣害対策
- ・ 基盤整備が進まない
- ・ 異常気象による収入の不安定
- ・ 地域との関係性
- ・ 家事・育児との両立
- ・ ブランド化
- ・ 家、作業場の確保

④ 課題に対する地域のサポート状況はいかがですか。

栽培技術が未熟であることを課題とした者が8割（Ⅱ-2-③の結果より）と一番高いにもかかわらず、地域のサポート状況については対応できているとした者が75%と他の課題に比べ満足度が一番高くなっている。

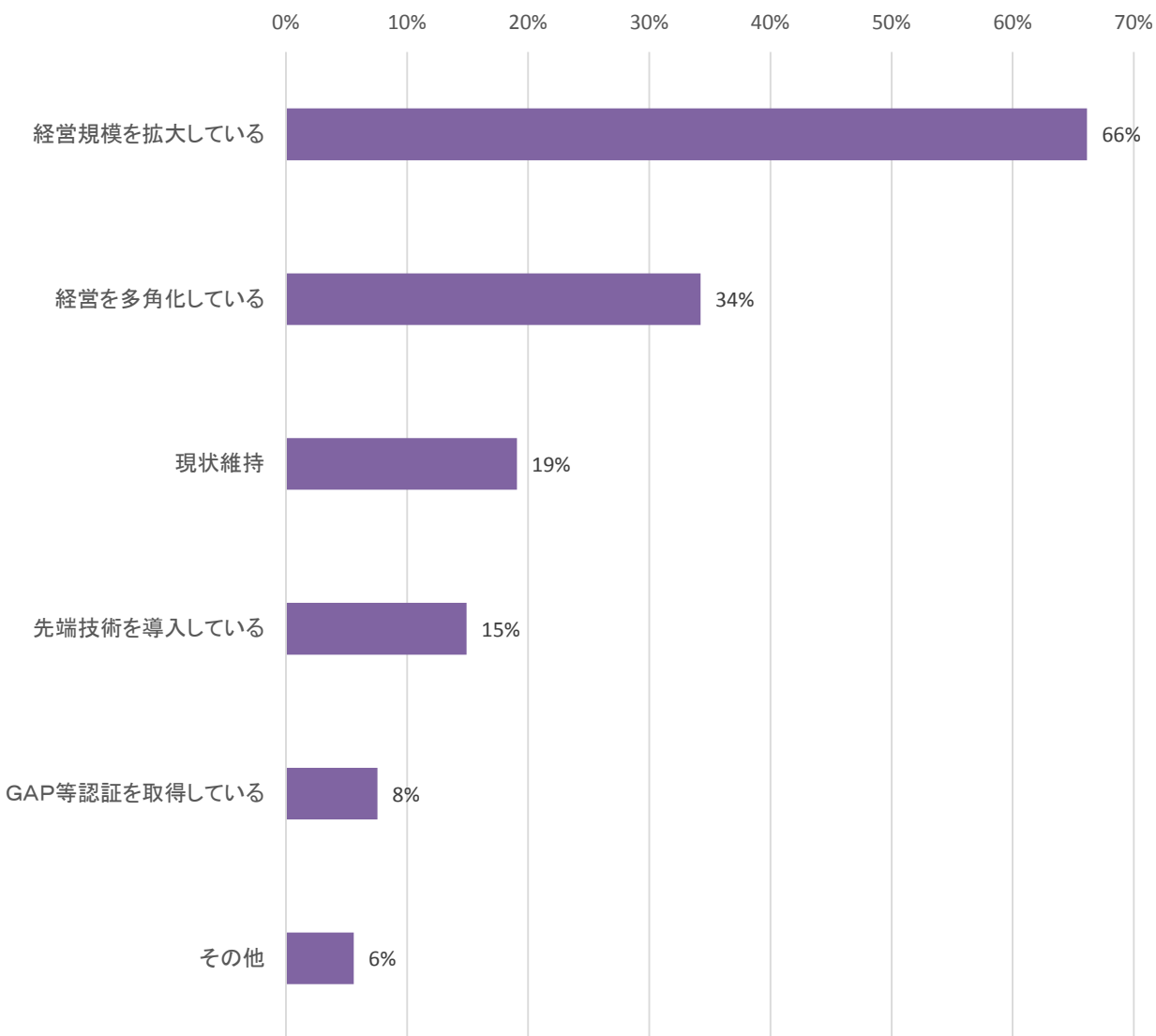
一方で、資金不足を課題とした者は7割（Ⅱ-2-③の結果より）と二番目に高いにもかかわらず、地域のサポート状況については対応が不十分とした者が35%と一番満足度が低くなっている。

販路及び農地の課題に対するサポート状況について対応が不十分とした者が約3割となっている。



⑤ 今後（概ね5年先）の経営展望についてどのようにお考えですか（複数回答可）。

経営規模拡大が最も高く（66%）、次いで経営の多角化（34%）、現状維持（19%）の順となっている。



●その他の経営の展望

- ・作業の効率化
- ・海外展開
- ・有機農業
- ・法人化
- ・販路拡大
- ・農福連携
- ・周囲に新規就農者を増やす